

# わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる

古里の温もりに包まれながら

あちらこちら、わがまち散歩



室町時代、木山氏築城の城があつたと伝わる、市ノ後地区。昭和の頃に土地区画整理事業で生まれた、辻の城地区。新旧の歴史をたどりつつ、ここに暮らす人たちの温かさに触れました。

## 昔から変わらない 青果店の光景

大気が澄み渡り、一筆書きしたような筋雲が高くなつた青空に流れていく。民家の庭先から漂う甘い香りの正体は、キンモクセイの花。もうすっかり秋です。

今回の散歩、まずは県道熊本高森線の木山交差点から北上し、市ノ後地区にやつて来ました。「後」と書いて「しろ」と読む、地名の由来は諸説あります。室町時代に現在のスープ

一キソド横に豪族・木山氏が最初(一番目)に築いた木山腰尾城(城)があつたことから「いちのしろ」と呼ばれています。もう一つは、木山神宮の横参道に立つ市の後方(北側)に広がつていたことからという説です。ちなみに

市ノ後から寺迫の木山城跡に城が移されたのは、攻略されやすい木山往還沿いにあつたためと伝わります。

さて、このかいわいで青果店を営む「吉本商店」は、いつも顔なじみのお客さんたちでにぎわいます。開けづ

## ユニークな店名の由来 柴犬に呼び止められて

吉本商店から北に進むと、右側に

カフェ&ビアレストラン「葡萄館」があります。店主の外山卓治さん(71)は剣道教士で八段の実力者。店名の「葡萄館」には「武道館」が掛けてあるそうです。

この店の人気メニューがオムライス。きつちりと炒めたケチャップ味のご飯を、フワフワの卵で包んだ王道の味です。そのおいしさにあつとう心掛けています」と話す吉本さんは、顔が見える商売を大切にしています。

23年前にオープンしたこの店は、長年の常連さんが通います。熊本地震から頑張って立ち上がり、今



「これから季節、柿がおいしいですよ」と  
吉本潤也さん